

【令和7年度入試（令和6年度実施分）】

解答例：

(1) 私が取り組もうと考えている社会課題は、「デジタル格差の解消」です。デジタル格差とは、インターネットや情報通信技術（ICT）へのアクセスや利用における不平等を指します。特に、発展途上国や高齢者、経済的に困難な状況にある人々は、教育や仕事、情報収集の手段としてのデジタル技術を十分に活用できていません。この格差は、経済的・社会的な機会の不平等を生み出し、持続可能な社会の実現を阻む要因となっています。

(2) この社会課題は、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」と目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、そして目標10「人や国の不平等をなくそう」に関連しています。質の高い教育は、ICTを利用したオンライン学習などによって実現可能であり、技術革新の基盤としてのデジタルインフラの整備が重要です。また、デジタル格差は経済的・社会的な不平等を助長するため、この問題を解決することが不平等の是正にもつながります。

(3) 私は将来、途上国においてICT教育を推進するプロジェクトに参画したいと考えています。デジタル技術へのアクセスの不平等は、インフラの不足、教育機会の限界、経済的なハードルなど多くの要因が絡み合っていることがわかっています。特に発展途上国では、インターネット環境が整っていない地域が多く、ICTの普及に関しては2015年時点で東南アジアで50%未満、アフリカでは10%未満の国もあります。そこで、国際的なNGOや企業との協力を通じて、発展途上国でのインフラ整備やICT普及に向けた取り組みを支援したいです。これにより、誰もがデジタル技術を利用し、社会的・経済的機会に平等にアクセスできる社会を目指します。